

特集

インフラの魅力が 伝わる広報へ ～地域の成功例に学ぶ～

【特集の趣旨】

我が国では、インフラが国民生活や経済活動に極めて重要な役割を果たしているにもかかわらず、そのことが十分に認識されておらず、逆にインフラ整備を負のイメージとしてとらえる状況が長く続いていました。

関係機関ではこれまでインフラ整備の必要性や役割について、一般の人に自らの目で見え気づいてもらえるように「伝わる」広報活動が展開されてきました。また、各地域では、暮らしを支えているインフラの役割・意義・魅力等について住民の理解を得ることや地域の担い手を確保すること等に向けて、行政や民間団体により様々な手法で広報の取組が行われてきました。

昨今ではSNS、インターネット、テレビ、ラジオなどあらゆる情報発信手段を取り入れた広報活動が行われていますが、狙いに応じてどのようにして効果的な広報活動を行うべきか、多くの全建会員にとって悩みの一つとなっています。

今号の特集では、総論として関係機関のインフラの魅力が伝わる取組を紹介するとともに、地方整備局や地方公共団体で取り組んでいる広報活動として、SNSを戦略的に活用した事例、工事現場の見せ方を工夫した事例、地域住民とのコミュニケーションを通じた広報の事例等を紹介します。

特集担当編集委員 小林 怜夏
(国土交通省 港湾局 参事官(港湾情報化)室
課長補佐)



工事安全啓発キャラクター仕事猫の着ぐるみを活用した建設フェスタ2023（本号P24～26「仕事猫とコラボした広報」より）



CONTENTS

インフラを活用した地域ブランド戦略	8
地域住民等とのコミュニケーション型広報の実践	12
北千葉道路の広報	15
地域協働によるグリーンインフラの取組事例	18
阿蘇立野ダム×YouTube×Minecraft	21
仕事猫とコラボした広報	24
インフラ修景が創り出す町の魅力とその発信	27
介護予防とコミュニティ創出の鍵は??マンホールにあり!!	30